

2022年12月23日

独立行政法人国際協力機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

山北町は、このたび、独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行するソーシャルボンド（以下「JICA債」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、「調達資金のすべてが、新規または既存の適格なソーシャルプロジェクト（社会的課題への対処・軽減、ポジティブな社会的成果の達成を目指すプロジェクト）の一部又は全部の初期投資又はリファイナンスのみに充当される債券」です。

JICA債の調達資金は、JICAが実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業（石炭火力発電事業への出融資を除く）を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されます。なお、JICA債は国際資本市場協会（ICMA）の定めるソーシャルボンドの要件に従った債券として、第三者機関よりセカンドオピニオンを取得しています。また、JICAによる債券の発行は、日本政府からSDGs（持続可能な開発目標）を達成するための具体的施策の一つにも位置付けられています。

このように、JICA債への投資は開発途上地域の貧困削減・持続可能な経済成長支援を後押しする観点、また、地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献することで持続可能な国際社会づくりに繋がるという観点から、サステナブルなESG投資としての性格・意義を有しています。

山北町は、「第2期 人口ビジョン・総合戦略」において、総合戦略先駆的事業の1つに「SDGs推進事業」を掲げ、町の豊かな自然環境を生かした地球温暖化対策やSDGsの実現に向けた普及啓発活動の推進に励んでおります。SDGs債におきましても、2020年度以降、様々なグリーンボンド・ソーシャルボンドに投資を実施・表明し、資金運用の面からもSDGsへの積極的な取り組みを推進しております。

今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投資を継続的に実施していき、収益性の確保のみならず、社会的使命・役割を十分に実施して参ります。

〈本債券の概要〉

銘 柄	第70回国際協力機構債券（R&I格付け：AA+、S&P格付け：A+）
年 限	10年（2032年9月17日償還）
発 行 額	100億円
利 率	0.559%